

添付資料：

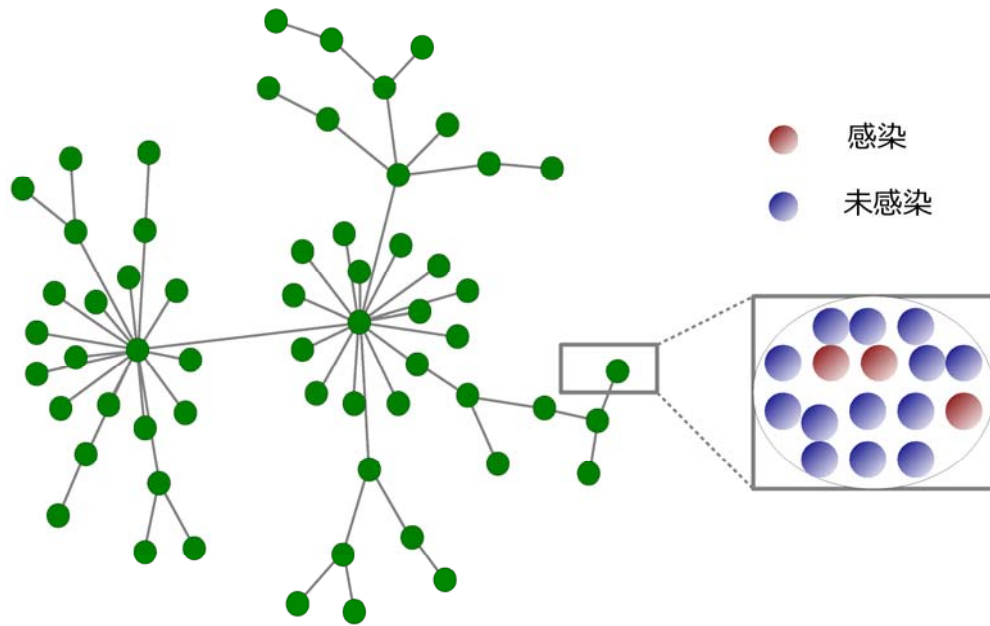


図1：感染症モデル。多数の国や都市などの間を人々が行き来する状況を、ネットワーク構造を用いて抽象化して表現している（メタポピュレーションモデル）。人々はネットワーク上の地域から地域へとリンクを介して移動する。また、各地域内の人々はそれぞれ感染状態（赤）や未感染状態（青）などの状態をとり、未感染状態の人は感染状態の人との接触により確率的に感染状態へと遷移する。

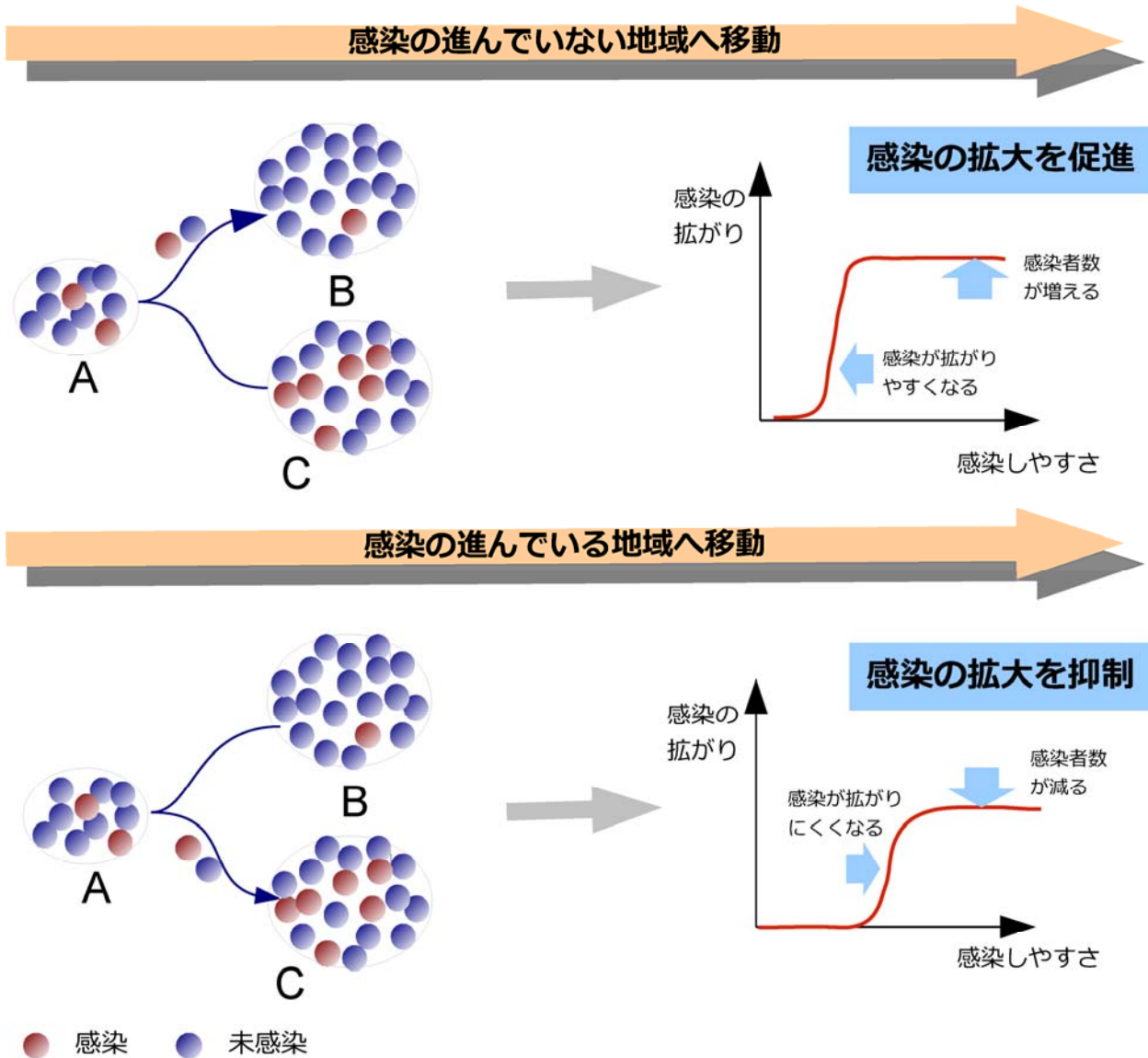


図2：感染拡大に関する情報による人々の行動の変化。ある地域(A)にいる人々が、自身の安全を考えて、感染が拡大している地域(C)を避けて感染が拡大していない地域(B)を選んで訪れることが、全体としては感染の拡大を促進する（上段）。一方、人々が逆の行動を取ると、全体としては感染の拡大が抑制される（下段）。